

1. 件 名 : 「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可申請に係るヒアリング ( 2 4 ) 」

2. 日 時 : 令和 4 年 3 月 1 1 日 ( 金 ) 1 5 時 3 0 分 ~ 1 7 時 1 0 分

3. 場 所 : 原子力規制庁 1 0 階会議室 ( TV 会議により実施 )

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

長谷川安全規制管理官、小澤安全管理調査官、石井企画調査官、中野  
上席安全審査官、野村主任安全審査官、岸野主任安全審査官、羽場崎  
主任安全審査官、田中管理官補佐、有田安全審査官、尾崎安全審査専  
門職、田口安全審査専門職、鈴木安全審査専門職、内海安全審査専門  
職、川村安全審査専門職、赤石原子力規制専門員

長官官房 技術基盤グループ 地震・津波研究部門

吉村技術参与

リサイクル燃料貯蔵株式会社

赤坂常務取締役 他 9 名

東京電力ホールディングス株式会社

輸送技術グループマネージャー 他 1 名

日本原子力発電株式会社

炉心・燃料サイクルグループ担当

東電設計株式会社

建築解析評価部 特殊解析グループマネージャー 他 1 名

5. 自動文字起こし結果 : 別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こしによるものであり、誤りを含む  
場合があります。

6. その他

資料 1 液状化評価の手順について

資料 2 ( 参考資料 ) 使用済燃料貯蔵建屋の耐震性

## 参考

- ※ 令和4年2月24日「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可申請に関する資料提出」
- ※ 令和4年3月4日「リサイクル燃料貯蔵株式会社による使用済燃料貯蔵施設の設計及び工事の計画の認可申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	解しました。
0:00:03	規制庁赤石です。
0:00:05	ただいまから3月1日のR F Sの設工認申請に関するヒアリングを始めます。
0:00:12	まず初めに申請者から出席者の説明をお願いします。
0:00:17	リサイクル燃料貯蔵東京事務所の大野です。
0:00:21	出席者ですが、当社に咲く燃料貯蔵東京側から五名出席しております。
0:00:29	この中には、We bで参加しておりますサエグサを含んでおります。
0:00:35	それから同じくこの会場から、
0:00:50	いや、
0:00:52	何か切れましたけど大丈夫ですか。
0:01:00	1回見ちゃう。また、
0:01:20	R F S東京事務所ですが続けてよろしいでしょうか。
0:01:24	いや、規制庁赤石です。すみませんちょっと今、途中で音声で途切れましたが、
0:01:31	赤井井川。よろしいですか。
0:01:36	はいこちら特に異常はございませんが、
0:01:41	もう一度最初から出席者紹介しましょうか。
0:01:45	はい。
0:01:48	赤井さんから甲斐さん
0:01:49	うん。
0:01:51	規制庁赤石です。規制庁会議室側は大丈夫ですか。
0:01:55	はい大丈夫です。もう一度お願いします。
0:01:59	はい。それでは、こちらに昨年度ちょっと東京事務所のです。改めて出席者を紹介します。
0:02:07	R F S東京事務所から五名出席です。
0:02:11	このうち1名はWe bで参加しております三枝です。
0:02:16	同じ会場から東京電力さんが、島グループマネージャーほか計二名参加しております。
0:02:27	それからウェブ上で日本原子力発電の高田さんが参加しています。
0:02:34	それから東電設計から、こちらウェブ上ですが、ウェブ上からですが、建築解析評価部、特殊解析グループマネージャーの吉田さん、飯尾含め計二名。
0:02:48	参加されております。
0:02:51	東京側からの紹介は以上です。むつ側から紹介をお願いします。
0:02:59	はい。こちらR F S物放射です。水戸本社側アカサカセンター長含め五名出席してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:03:07	以上です。
0:03:11	規制庁アカイシですありがとうございます。
0:03:13	それでは本日のヒアリングなんですけれども、
0:03:16	液状化の検討あと津波による建屋の損傷の検討。
0:03:21	確認を行っていきたいと思うんですけれども、事前に申請者から提出いただいていた資料の確認だけお願いします。
0:03:35	RFS東京の土木建築担当の竹内でございます。液状化につきましては、液状化の手順についてということで右肩3月1日の資料が一部、
0:03:48	それからそれに伴って引用している、申請書或いはコメント回答資料の抜粋として参考資料として一部用意しております。
0:04:00	それから建屋につきましては、パワーポイントの資料で、津波襲来時の建屋損傷と金属キャスクへの衝突物の考え方という。
0:04:11	パワーポイントの一部をしております。資料は以上でございます。
0:04:17	成長アカイシです。
0:04:18	承知しました。
0:04:20	まず
0:04:23	液状化の件から始めたいと思うんですけれども、いや、尾崎さんがやるんじゃない。
0:04:33	言わないのかな。
0:04:35	開始ワー初めは受け入れ施設の損傷について、最初にやってください。
0:04:42	規制庁澤です。そのあと液状化その他の事項にしてください。
0:04:49	規制庁赤石です。はい承知しました。
0:04:52	では、
0:04:55	はじめにの津波の襲来時の受け入れての損傷の方から始めていききたいと思います。
0:05:07	既設アカイシです。
0:05:08	荒と野村さんからよろしいでしょうか。
0:05:11	衛藤課長の野村です。
0:05:13	ですね質疑応答に入る前に、まずですね、事業者の方から簡単にこのパワーポイントの資料を説明していただきます。
0:05:24	RS東京タケウチです。承知いたしました。早速始めてよろしいでしょうか。お願いします。
0:05:30	はい。
0:05:32	それでは、資料をご覧くださいますと、めくっていただきまして、まず1の括弧、
0:05:39	もう、
0:05:40	1の(1)、敬礼。
0:05:44	区画区域北側外壁部で考慮する損傷部位というタイトルがついてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:51	まず一番上に書いてございますのが、事業変更許可のご説明のときにご説明した基本方針が二つ開始書いてございまして、
0:06:02	ご案内の通り釈迦に説法でございましてけれどもまず貯蔵区域。
0:06:08	については、これがはいは力によって、絶えることによって、建屋損傷を考慮しないということと、
0:06:16	受け入れ区域についてはは力によって損傷を受けて、
0:06:20	天井スラブ及び天井クレーンの落下を考慮すると、という二つの方針がございまして。
0:06:26	詳細につきましては本資料の中でも後程引用してございましてけれども、審査会合資料で取りまとめをしております。
0:06:34	本日は、上記の考え方と、それから建屋構造との関係でご説明をしたいと思いますと思っております。
0:06:43	まず1ページ目の下段でございまして、
0:06:47	右側に平面図がございまして。まず、平面的に考えた時に損傷が起こり得る部位とはどこかということを整理事業いたしました。
0:06:56	図面でご覧いただきます通り、
0:06:59	通りからDA間、それからF通りからH管というのは、北側外壁に直交する控壁がございまして、
0:07:10	真ん中のB通りからF通りに比べて損5しか相対的に剛性が高いということから、
0:07:18	損傷を受ける可能性があるとするならば、李BA通りかBA通りからF通りまでの間であろうということ、
0:07:27	表1のところの文章に、整理をしております。平面的に見たときに、損傷の可能性のある部位として、美瑛通りからF通りということで、
0:07:39	次のページご覧いただきますと、
0:07:41	ではその壁の中で鉛直方向にどこが弱いのかということを整理事業いたしました、しております。
0:07:48	それから、一番上にはですね三つ、ご存知の方には釈迦に説法で申しわけございませぬけれども、
0:07:55	開口部周辺に応力が集中しやすいと、それから剛性が変化する部分において、集中しやすいと。
0:08:03	ということそれから壁の支持部である、脚部に考慮が一番大きくなるだろうということ、
0:08:10	右側の図面で、
0:08:13	若干、廃棄効果、
0:08:15	①部と書いてございましてハイウェイ廃棄孔の間ところに柱状になっている在こういうところが形状の不連続部であるということ。
0:08:26	それから②分のところで、赤線の点線の上下で壁厚が変化いたしますので、
0:08:33	この表ん部分が、応力が集中しやすいだろうと。最後に3部として、全部の差は力が、脚部に集中してきますので、
0:08:45	ここが損傷の可能性が高いだろうと考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:49	ちなみに米印で書いてございますけれども、そんで申し訳ございませんが、7ページをご覧いただきたいと思えます。
0:09:00	これは事業他変更の時に、途中の過程として水深係数 1.5 で、同じ壁を解析した結果でございます、
0:09:10	8 ページに、その結果が示してございます。
0:09:13	この形時の結果によりますと、
0:09:17	左下評価結果というところで、
0:09:20	検定比として、
0:09:22	曲げモーメントについて約 0.53、それから一せん断について 0.39 と。
0:09:30	ということで、評価結果が出てございます。
0:09:33	戻っていただきまして、先ほどの注記でございますが、できた。
0:09:42	4 ページから 4 ページのところ、米のところでございますが、水深係数を三島と仮定いたしますと、トータルの荷重として、これが 1.5 の時の 4 倍になりますので、
0:09:55	1.5 から類推するに、多く
0:10:01	壁で、体力或いは中央限界を超えてくるということが予想されます。
0:10:07	それから、直接波を受ける部分の整理が今の部分でございますが、その次のページ (3)。
0:10:14	損傷を受ける可能性が高い部位と屋根部の関係というのがございます。
0:10:19	ここでは、衛藤、右側に、
0:10:22	断面を示しておりますけれども、鉄骨部の柱が立って、そこに大場李と小針がかかっているという構造でございます。それから外壁はコンクリートでございます。
0:10:35	それから、屋根分がですねやる分については、直接津波を受けるわけではありませんが、直接受ける柱の部分に損傷が生じると。
0:10:47	その影響も、
0:10:50	屋根部にも生じてくるだろうということで延暦寺。荷重の負担を十分発揮できない状態が想定されるということでございます。
0:10:59	この場合は、
0:11:01	この状態では、
0:11:02	屋根面も変形を受けて、柱の損傷によって、そ外壁側の柱が少し変形すると。
0:11:11	他にも変形を受けて、応力が増大すると。
0:11:16	ということでございますけれども、ご覧いただいた表のようにですね。
0:11:20	大庭の部材に比べて足柱の部材に比べて張りの部材が非常に大きな部材になっておりまして、
0:11:28	剛性が高いということから、
0:11:30	柱に先行して奥常務が梁が脱落するというようなことはないだろうというふうにご覧いただきまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:39	鉄骨を張りの落下自体は考えてはおりません。ただし、下段でございますけれども、
0:11:47	大庭李と小針に挟まれた世良分ですね天井のコンクリートスラブが変形した場合に落下をして、右側の図面で黄色く囲ってある部分でございますが、これが立て起こした状態のキャスクの町歩に衝突するということは考えてございます。
0:12:04	以上をまとめますと変形のイメージというのが、一番最後のページでございますけれども。
0:12:11	一番脚部のところで、塑性ヒンジのようなものができて、中段にもできるということと、それから屋根部のところの外壁側が、
0:12:22	一部下がってくるということで、イメージとしてはこういう変形の状態になるのではないかと、いうふうに考えております。
0:12:32	それからその次のページでございますけれども、
0:12:36	これは安全審査ごめんなさい事業変更許可のときに、
0:12:40	落下物の状態を想定して、
0:12:43	何が落ちてくるかということを整理したものでそのまま載せてございます。
0:12:47	一番左側の列に、コンクリート側壁、天井スラブクレーンガーダ天井クレーンということで、一番から四番の物が落下すると。
0:12:58	ということで、それぞれの落下状態は、右側に整理したような状態になっております。これらの候補の中から次のページをね。
0:13:07	それぞれのエネルギーと、キャスクの水平姿勢立て姿勢ということで整理をいたしますと、
0:13:16	金属キャスクの水平姿勢というものについては、天井クレーンの落下のエネルギーが一番大きいということ、それから天井スラブの落下につきましても、キャスクの縦姿勢のところの中で一番エネルギーが大きいと。
0:13:30	ということで、検討の対象事象としてはこの二つを選定するということにさせていただきます。
0:13:39	ご説明は以上です。
0:13:46	ありがとうございました。では規制庁側から、先ほどの説明に対して、コメントをお願いします。
0:13:54	規制庁、野村です。
0:13:58	いいですか。規制庁野村ですがまずちょっと確認したいんですが、
0:14:03	とですねちょっとページ番号振ってないんですけど、
0:14:08	表し切れて、
0:14:10	5ページ目から、
0:14:13	(3)のところ。
0:14:16	ですね、なんですけど、ですねちょっと確認なんですけど、
0:14:20	壁の上の方。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:23	上の■■■■のところに壁っていうのはこれは鉄筋コンクリート製ですか或いはパネルのようなALCみたいなパネルなんですかね。
0:14:35	すいません衛藤に対する燃料貯蔵ですちょっと今の壁天井の厚さのご発言がありました。これちょっと非公開情報になりますので、後程、失礼しました。お願いいたします。危惧します。
0:14:49	はい。リサイクル燃料貯蔵タケウチでございます。これ鉄筋コンクリートの壁でございます。
0:14:56	今日、了解しました。以上です。はい。規制庁ノムラし了解しました。それですねこれは依頼なんですけど、真ん中辺に梁と柱は、保有水平耐力接合ということで、
0:15:09	はりよりか、接合部が5というか同じか強いかってことだと思うんですけど、これ図面が、ここの部分の図面がないので、図面を、
0:15:19	つけてくださいって出してください。
0:15:21	というのがまず、
0:15:22	嫌です。
0:15:24	申し訳ない。ちょっと今、最後の方から何か書面を出せばよろしいですか。どうぞ。江原イトウ柱の接合部の。
0:15:31	当間がスプレッドみたいなものが多分たくさんついてるのかなと思うんですけど、その構造ですね。
0:15:37	この、保有水平耐力接合であり、入ってるんですがそのエビデンスが欲しいということです。
0:15:46	ある日東京タケウチで承知しました。
0:15:50	規制庁野中ですそれで7ページ8ページ。
0:15:55	なんですけどこれ許可のときにさんざん、
0:15:58	御社と話し合った。
0:16:00	ところなんですけど、
0:16:02	とですね、ここから9ページ目の絵を、
0:16:08	ちょっと出すのはちょっと。
0:16:11	難しいかなということで、ちょっとすいませんなんかノイズ入ってますけど、いいのかな。
0:16:17	と、
0:16:18	それでここ、これはあくまで水深係数1.5なので、
0:16:24	参考にはなるかもしれないんですが、
0:16:27	それほど参考にならない。
0:16:29	と考えてます。
0:16:30	それですね。
0:16:32	推進件数3の時の図をつけてくださいということです。
0:16:37	かつですねこの曲げモーメントズーム先端力の分布図も、荷重を出してるんですけど、その許容値が場所によって違うので、ちゃんと許容値分の荷重。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:50	もうその比率つうの。
0:16:52	無次元の数字のグラフじゃない。コンターツ。
0:16:57	出してください。
0:16:58	ということです。
0:17:00	これよろしいでしょうか。
0:17:04	R I S 東京タケウチでございます。
0:17:07	ご説明が悪かったようで、一番最後のページを書いた根拠というか考え方というのは、
0:17:16	ページが振ってなくて申し訳ございませんが、(2)のページでございます。
0:17:23	で、応力が集中しやすい部分で、
0:17:27	2分と三分02分と03分ということがございますが、ここが塑性ヒンジ化すると、回転の脚部では書いてあることで、それ以上負担できる曲げモーメント河成ないという条項状態を考えております。
0:17:42	さらに、剛性の変化分で、中段のところでございますけど②分のところで、そこも応力が負担できなくなると、変形がどんどん進むと。
0:17:52	ということから、変形が進みやすいところを、2ヶ所変位をして、こういう変形モードになるではないかということでこの図を書いております。以上でございます。
0:18:03	規制庁野村ですがそうすると定量的なものが全くなく、傾向的なものだけだけで図を書いたということで、
0:18:11	よろしいですか。
0:18:17	R S 東京タケウチでございます。江藤。
0:18:25	傾向というか構造の部材厚を考えると、そういうことになると、例えば全塑性モーメントが出てくるときには、一番弱部が出てきますので、
0:18:34	応力が集中しやすいところ等、構造的に弱いところという組み合わせで、今この絵を書いたということでございます。以上です。
0:18:46	規制庁野村です。余りにも定性的すぎるのもちょっと、
0:18:52	説得力はないとは思ってます。仮にです御社の言う通りだとすると、
0:18:58	例えばこの4ページ目、目の123は弱いとは思うんですけど。
0:19:03	この9ページ目に行って、
0:19:05	この縦方向にすぱっと壁がせん断で切れてるんですけどこれ、何でこんなことができるんでしょうかね。ちょっとこの傾向の、
0:19:16	4ページ目と9ページ目が一致しないかなと思うんですけど、3、3はこれ、③部ってこれは、
0:19:25	センターじゃなくて、形で、
0:19:28	壊れて何か鉄筋だけでもってるようなそんなイメージなんですかね。
0:19:37	すいません。まず③分の話ですが、
0:19:41	ここで今、一番最後のページで書いてゆえの想定としては、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:49	脚部で壁が全塑性モーメントに達したような状態で、
0:19:53	鉄筋もコンクリートも応力を使い切った状態でそれ以上曲げモーメントが負担できなくなると、回転だけが進んでいくという状態を想定して今これを書いております。
0:20:06	もう一つは何か。
0:20:07	もう一つ以上でございます。
0:20:10	規制庁野村です。
0:20:13	許可時から、
0:20:15	この壁の下はせん断ですぱっと切れるという話を、お互い、
0:20:20	同じ認識を持ってたと思うんですけど、いきなり下にある、下って、
0:20:26	コンクリートとか鉄筋切れたらもうそれは完全にもう、
0:20:30	ハーツで平行に、
0:20:33	ていうか、壁が鉛直のまま押し込まれていくようなイメージがあるんですけどねっていうのと、
0:20:39	あともう一つは、この壁。
0:20:42	9 ページ目だと、縦方向に切れてるじゃないすか壁がA B通りと。
0:20:48	手打ちする通り、ここは別に剪断力が上がるわけじゃない。上がるわけじゃないっていうこと。
0:20:55	の傾向であるのに、何でこんなことが起きるんですね。
0:21:05	すいませんちょっと切れてるというのは例えばその真ん中だけ抜き出してるのはなぜかというようなお話ですか。浦川だけ抜き出してこの慶長ノムラです。
0:21:15	9 ページの絵だとD A通りカラー、Fでしたっけ、F通り。
0:21:20	美瑛通りとF通りで、縦方向に風が切れて、
0:21:26	何かこう、三角形のように押し込まれてますよねってことなんすけどでここせん断力別に上がるわけじゃないですよ。
0:21:32	ことなんすけどね。
0:21:34	なんでそうなるんでしょうか。
0:21:36	ということです。
0:21:42	規制庁の長谷川ですけれども、ちょっと途中で口を挟んで申し訳ないんですけども、ちょっとちいのノムラの言い方も、
0:21:54	これはこの時点でいろいろ決めつけて、
0:21:59	お話をするのはいかがなもんかなというふうに思っていますね。
0:22:06	ちょっと後、
0:22:08	最初から聞いてなかったところもあるんですけどもう1回確認さしてもらいたいんですけども。
0:22:18	まずうの内野野村が言っている、何だっけ、1.5倍でやったのは、
0:22:28	あんまり意味がないんじゃないかっていうところについては、これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:37	別に弾性状態で、解析というか計算してるから、これ2倍すればいい。
0:22:46	基本的には、
0:22:49	暴力地とかってというのはそのまま使えるっていうそういう理解でいいんですかね。
0:22:56	はい。RSタケウチでございます。おっしゃる通りで、検定比のところが0.53とありますので、概ね2倍まではほぼ弾性でいけるだろうというふうには思います。
0:23:09	あと、水深係数1.5と3の差ということになりますと高さが2倍幅が2倍ということで、全体の荷重として4倍になりますので、2倍ぐらい、面積で2倍ぐらいまでは多分弾性でいけるだろうと思いますが、
0:23:23	そのあとは協力を超えてしまうだろうということで、ちょっと説明が悪くて申し訳ありませんそういうつもりでお話をしました。
0:23:30	大体理解はできて、
0:23:36	そう考えると、曲げとかせん断マウント当然塑性化するんですけども、何かめちゃくちゃおっきいかっていうとそうでもないかもしれないっていう、そういうイメージですかね。
0:23:52	だから今何かさっき藤客分ところとかがね、鉄筋も破断するようなイメージでノムラがお話したんですけども、
0:24:02	実際にはそんなんでもないんじゃないかっていうそういう理解の説明だったのかな。
0:24:10	はい。
0:24:12	今お話の通りで、一番最後のページは、
0:24:17	中央部だけをかなり理想化しても丹話を単純にして書いておりますんで。
0:24:24	実際に解析をすれば、昆このような変形で、変形するわけではなくて、おそらく、黄色くなってる部分の、
0:24:35	真ん中辺の辺りがずっと奥まで押し込まれてゆがむっていう形にはなると思います。それで、
0:24:42	はい。
0:24:44	どうぞ。いいですよ。どこ。すいませんもう一つはですね。
0:24:48	100分のところで曲げモーメントができて、大きくなってきて剪断も大きくなっていくということで、まず最初に、多分、なんすかね。曲げモーメントが、
0:25:00	降伏に達して回転を始めるだろうと。
0:25:03	そのあとに、もっと大きくなると今度せん断が切れてしまって、そこがもう不安定になってしまうという状況です。その切れる前の状態で、だとしても、
0:25:14	先ほど、最後のページでご覧いただいたように、着分は回転を始めてしまうし、真ん中大きく押し込まれてしまって、
0:25:23	100分のところと中段のところがいわゆるピンのような状態になって、鉛直を支えるということを主張するには、若干無理があるかなということでお話をしようと思ってました。以上でございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:37	規制庁の長谷川ですけど、なんかイメージは実は僕はわかっ
0:25:42	てるかなあとは思ってこれはあくまでも最後のイメージなんだけど、多分これ、すごい、何ていうか極端に書いてるんですよ。
0:25:55	はい。わかりやすいように、実際のスケールとは違い、すいません。
0:26:01	だから、多分実際のスケール感からいったら相関変形角っていうか、変形量は最大変形量みたいなのもうそんなに行かないの。
0:26:13	その辺のイメージが、もうちょっとつきやすくなればいいのかなどは思ってるんですけどね実際には、そうすると、
0:26:24	まず数値的に、
0:26:28	パッと、なかなか表施策なんだっけ8ページのやつを、から創造。
0:26:35	するに、
0:26:36	終局とかまではいかないのかどうかとかね。
0:26:41	そう。
0:26:42	ところがもうちょっとお話をさせていただければ、
0:26:47	多分、棄却分ところが曲げが入ってくるんで、0天井部分が少し下がって、
0:26:57	真ん中の
0:27:00	SRCの柱から、Sの柱に変わるところで、剛性が急激に変わってくる。ここでとは、割と、
0:27:12	あるっていうそういうイメージ的には割とね、
0:27:20	想像は、
0:27:22	できるかなあとそんなに大きく間違っていない。ただしそれが多分できるのはこのお客のところ、どのぐらいの応力になってどのぐらい少し、
0:27:33	連携。
0:27:34	ていうそのイメージとそれが終局までは至ってないっていうところが、もう少しちょっと説明が、
0:27:42	ロジカルに行くと。
0:27:44	いいのかなとそうすると多分、
0:27:48	ちょっとノムラの方は、相当、
0:27:51	勘違いというか、行き過ぎた発言をしてたんじゃないかなっていう気にもなるんですけどその辺いかがです。
0:27:59	はい。RS東京でございます。
0:28:02	実際にですね、
0:28:07	応力が余りにも大きくなりすぎると、解析で追える限界を超えてですね、例えばFEMに数値を入れても、答えは出てくるんですけども、その結果をそのまま使っているのかっていうところは、
0:28:20	ちょっと我々としても迷うところがあるんですけど、ただその、今ご指摘のあった例えば変形角でどのぐらいになるのかと、その辺計画が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:31	通常言われてる褶曲の変形角の何分の1段が何倍なのかというようなオーダー感については、何らかの方法でちょっと工夫をして出すように努力をしたいと思います。以上です。
0:28:51	長谷川ですけど、浜崎さん何かご意見あります。はい。規制庁濱崎です。
0:28:59	いきなり解析っていうのも手もあるんですが、まずそのあたりをつけるという意味では、この北側の壁って結構1個、
0:29:10	いわゆるその近くみたいな形の短冊状にしてですね。
0:29:14	で、先ほど管理官からも話があったように、収去食うに対してどのぐらい、それ超えてるのか、どうなのかとかですね、そういう判断というのはまずできると思うんですけども。
0:29:28	提携さんとか、そういうレベルでも、
0:29:30	そういった見込みっていうのは、されてないですか。
0:29:37	R F タケウチでございます。事業変更許可の初期の時代は、そういった手計算で今やっておりますですね。
0:29:46	今ご指摘の趣旨は十分わかりましたので、例えばその単位幅を取り出したときの、推進ケース3を掛けたときの、手計算で出る局企画部の曲げモーメント。
0:29:59	それから、罪悪から想定される全塑性モーメントの値、或いは褶曲の変形角そんなようなものの比較でご説明をしたいと思います。以上です。
0:30:12	規制庁濱崎です。はいまだやられてないということならですねまずそういう辺りをということで、仮決定と途中で壁厚が変わってることを考慮すると、
0:30:23	もう少し複雑ななってきますので手計算でやるのか或いはちょっと課単位なモデルで解析を行ってみるとかですね。で、今これ、8ページの解析自体もこれ線形解析だというふうに理解してるんですけども。
0:30:39	とりあえず先遣隊シキイなり、
0:30:44	はりはりに置き換えてある程度その弾塑性みたいなこと、ところまで踏み込むかどうかなんですけども、要はある程度簡略化したものモデルで傾向を押さえた上複雑複雑系な方に、精緻な方に、
0:31:00	行くべきというふうに考えますので、ちょっとステップを追ってですね。
0:31:04	説明をしてもらえればというふうに思いますが、
0:31:09	いかがでしょう。
0:31:12	R F、R F S タケウチでございますご趣旨十分わかりました。まずはですね、ご指摘のあったような梁モデル、単位幅を切り出したはりモデルのような形で、
0:31:22	ちょっと詳細の解析から私も実際にやってるわけじゃないんでどういう方法ができるかわかりませんが、はりモデルを使って、集客がどこに先に来て、
0:31:34	それで例えば後どこが変形していくかというそういう傾向とらえるところまでまずやりたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:43	規制庁の長谷川ですけれども、あと今日お忙しいところ当然設計の方も来ていただいているんですけど、今日のお話を聞いていて、
0:31:54	何か技術的にご意見あります。
0:32:04	当然設計の太田といいます。よろしくをお願いします。
0:32:09	まずう現状ですね。
0:32:12	今、
0:32:13	画面に示しているように、1.5倍位のアーツで、
0:32:20	これは、NASTRAN線形解析をしておりますけれども、
0:32:24	これで、
0:32:27	そうですね。津波高さを変えた場合とか、
0:32:32	あと先ほどハバサキさんの方から、
0:32:36	話がありました。
0:32:39	はりモデルによる、手計算レベルですけれども、
0:32:43	それと終局耐力との比較等も、
0:32:48	確かにやるべ。
0:32:50	数字としては、出せるのかなと思っております。
0:33:01	ただ予想数にかなり大きな値が出るという、検定比としては、
0:33:06	かなり大きな値が出るのかなと。
0:33:10	現状で予想しております。
0:33:13	規制庁の長谷川ですけど、これ別に持たない、持たないといけないとかっていうそういう話をしてるわけじゃなくて、あくまでも、
0:33:24	何か相当だを破壊をするのか。
0:33:32	褶曲まで至らないぐらいの変形で収まっているのかとか、鉄筋まで切れるような大破壊で天井全部起こっちゃうのかとかね、何かそういうイメージをまずつけたいというぐらいなんで。
0:33:46	もともと別に、弾性で結構大きくなってそれ塑性変形まで考えれば、全体的にこの程度じゃないかとかっていうそういう技術的な、何て言うのかな。
0:33:59	まず先ほど言ったあたりっていうのが、必要。もう少し
0:34:05	何て言うのかな、定量的なあたりが欲しいなという。
0:34:10	それでまたその上で少し考えたらいいのではないかなと思うんですよね。特に
0:34:18	どのぐらいのレベル感なのかっていうのはまず、その終局との関係とかそれから、
0:34:25	どっか、どのあたりからシンジができていくのかとかっていう、多分1個ヒンジできちゃうともうその先の、
0:34:33	部分っていうのはあんまり
0:34:37	数値的にはもう意味がなくなっちゃうんで、まずはそういうところを少し見ればいいのかという気はしていますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:46	いろいろ考えて、
0:34:48	見ていただきたいなど。
0:34:51	と思います。
0:34:56	当然設計の太田です。
0:34:59	はい。ちょっとやりようはちょっといろいろありますので、
0:35:03	ちょっとぼりサイクルさんと、どの方法で行くかちょっと検討してみたいと思います。
0:35:11	規制庁のハセガワであんまり手間かかることを要求してるわけじゃないので、
0:35:17	最終的なイメージがつかめれば、いいということで、あんまり手間かかるようなことを決して求めてるわけではありませんで、いろいろ相談をしていただければと思いますけど。
0:35:32	浜崎さんも同じぐらいですかね感覚的には。
0:35:37	規制庁ハバサキです。はい。全く同感です。やはり、
0:35:44	荒井といいますか。
0:35:46	ある程度の押さえるレベルから、だんだんと精神の方に行くんで。
0:35:50	暗い経験にしても、短期に収める必要があるのかないのかとかですね、そういう話もありますので
0:36:00	あと正規な方もですね、やっぱり今8ページのモデルこれ、4ページ固定か何かですね。
0:36:08	本来でしたら、立体モデルを使うとかですねそういうこともあり得るんで、だから、この結果がすべてってなっちゃうと、
0:36:18	本当かなというふうになってしまいますんで、やはりまず、できるところからやって、その結果を見て次のステップに行く。
0:36:27	そういうスピーカたがいいかなというふうに私も思います。以上です。
0:36:40	R F タケウチでございます。承知いたしました。これ4、太田さんすいませんこのモデルの年外方向の拘束裏側の話をちょっと補足していただければ助かるんですけれども。
0:36:56	都立取りついてる浦野壁も入ってたり柱が入ってたりしてるわけですねこれね。
0:37:03	柱は、もちろん柱は、ある要素で入ってまして。ただ、4辺は注意4編は、現状は固定という条件で、
0:37:14	部分的に控壁と、そっち。
0:37:18	ありますので、床も一部ありますのでそういうところは、それ相応に、
0:37:25	境界条件を設けております。
0:37:29	すいません。ちょっと話が逸れまして申し訳ございません。以上でございます。
0:37:37	規制庁浜崎です。今大田さんの言われたような条件ですね、今この資料に関してはいいんですけども、補足説明なり、今後作っていく上ではですね、やはり

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:50	解析条件等ですね、この詳細の説明の方を記載のほうお願いしたいと思います。
0:37:55	よろしいでしょうか。
0:37:59	歩いた形でございます。承知いたしました。
0:38:05	内野アカサカですけど、1点だけ確認させてください。
0:38:09	この最後のイメージ図なんですけど最終的にこれ審査会合に持ってくつていう話もあったと思うんですけど、そこはそんな感じで。
0:38:17	今検討されてる状況でしょうか。
0:38:21	はい。
0:38:26	沿い規制庁のハセガワですけどそれって、誰に言ってる。
0:38:30	うちに言ってる。
0:38:33	はい。
0:38:35	だからもう、やっぱりこういうイメージ図が出す出せるかどうかっていうのは少し辺りをやった方がいいと思うんだよね。
0:38:45	なのでそれで、割と
0:38:48	こんな感じかなと確からしそうだとか、イメージ的には雰囲気があるぐらいまでは、できれば出してもいいし、まだそ。
0:38:59	出すとか出さないとかどんな形で出すとかっていうのはもう少し検討を進めてからでもいいんじゃないですか。
0:39:09	赤坂です。了解しましたちょっとうちの方でチャレンジしてます。以上です。
0:39:14	いずれにしろ、だんだん雰囲気はわかってきたので、もう少し
0:39:22	国会でもいいので、もう少しちょっと低定量化が進めばなというのが次のステップかなあと。
0:39:31	いうふうに思ってます。
0:39:36	最初に時間、そんなに時間かかんないですよ、今日の話ぐらいだったら。
0:39:43	はい。荒吉武でございます。まずは、PM2 行く前に、簡易なモデルとか、考え方を一応単純化したもので、
0:39:56	どこまで耐えられるかのオーダー感を説明するというご趣旨だと理解しましたんで、複雑なことをやらずに短時間でなるべく片付け、ご説明できるようにしたいと思います。以上です。
0:40:09	とりあえずまずはそんな感じですけどちょっと話の途中であれだったんだけど、うちのノムラはどう、どうですね今日の話聞いて、
0:40:20	まだちょっと納得感がなければ意見は言ったほうが良いと思います。規制庁野村ですが管理官のおっしゃることはわかります。
0:40:29	それでちょっと追加で幾つか半分教えていただきたいことがあるんですが。
0:40:36	私の方でも手計算で、壁に水圧がかかった場合静水やつ推進係数ささなかった場合って、ちょっとあたってみたんですけどやっぱり短期の1.5考えても、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:40:47	そこそこ超えるんですよね。
0:40:50	何ていうんですか。あくまで、
0:40:52	今は設計条件で、
0:40:55	考えてるんですよ。出すイシイケースも3で、
0:40:59	共用荷重ってやってるんですけど、ただ、例えば、コンクリートのせん断、
0:41:05	の許容値ですよ。
0:41:07	今田さん10分のF <sub>c</sub> であったんですけど。
0:41:11	これって、安全にどのぐらい取ってるのかなあとか。
0:41:15	ご存知ですかね。
0:41:17	うん。圧縮だとさんかなと思うんですけど。
0:41:20	仙田も同じぐらいですかねって。要するに実際に壊れるか壊れないのかわって知りたいんですよ、設計上やな。
0:41:27	太田さんが何かご存知ですか。
0:41:34	ですね、当然設計の太田ですけれども。
0:41:40	十河。
0:41:41	そう。
0:41:44	現状確かにせん断については短期で、
0:41:49	短期強力度でやっておりますけども、
0:41:53	それが最終的に8%位。
0:41:57	終局耐力っていうのも、コンクリートであるんですけども。
0:42:02	そう。
0:42:03	そこまで高く、3倍までは高くないのかなと。
0:42:07	思っております、
0:42:10	良くて1.5倍ぐらいまで、うん。
0:42:13	あと、
0:42:15	考えておりますけども規制庁ノムラです千田の場合は、
0:42:20	バイリニアっていうか、もうすぱっと切れちゃっても大丈夫です。そういう話はないのかなと思うんで。
0:42:27	より、壊れやすいというか、褶曲に達しやすいのかなとか、
0:42:31	思ったんでどのぐらいなのかなとか、ちょっと思った次第。
0:42:35	あとちょっと太田さんに行きたいんですけどね。
0:42:37	この8ページの解析モデル、七、八ページの関係でございます。これ、モデル化に当たっての安全についていうか、
0:42:48	安全がモデル化してるとは思うんですけど。
0:42:51	どのぐらい安全か安全側になってんですかねっていうか、例えば柱は、この中に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:57	パリで入ってるんですかね、このメッシュの中に入っております。そうするとその柱のシーンと壁等のずれ、
0:43:07	による和気の7ですか、曲げモーメントの。
0:43:12	ずれの分とかそういうのは行ってなくて、
0:43:16	もうは壁のシーンに柱が入ってるような感じでちょっと壁弱くなってるってことですか。
0:43:23	いや、ええとですね、実際は、柱の方は、
0:43:28	瀬戸先生、ちょっと解析的な解析的なテクニックとして、今オフセットをかけてました。そっか。うん。室内側に、
0:43:40	うん。外壁。
0:43:42	ような柱は、
0:43:44	後壁。
0:43:45	或いは中国柱はそのように。
0:43:47	一応そこら辺は考慮して、解析上は考慮してやっております。
0:43:52	規制庁ノムラがその辺でちょっと強くなるかなあと思ったんですけどそれも駄目。はい。
0:44:00	はい。
0:44:01	藤野村さんでこの、この程度の解析で、今現状我々が知ろうとしていることは精緻な話ではなくて、
0:44:11	とりあえずざっくり感と考える。
0:44:15	いや、
0:44:15	あまり今モデルの狛江かいところを、多分何か言ってもしょうがなくては全体のざっくり感なんじゃないかなあと。
0:44:25	だから手計算で多分やった、ていうのをちょっと聞いたけれどもそうすると褶曲までいかないんじゃないかなとかね、そんな菅Gかなとは思ったんだけども。
0:44:39	ちょっと断面とかそういうのも、僕はよくわかってないんで、あんまりいらんとも言えないんでだから今回、RFSの方でちょっと計算をする意味でも、
0:44:51	時にもそういうざっくり感でいいと思いますんで、あまり、こちらも今の段階で精緻な、
0:44:59	細かい話をしてもあまり意味がないかなとは思いますがもうこの程度にしといた方がいいと思います。
0:45:07	はい。都丸ですが。
0:45:10	わかりました少しでも荷重下げられれば、赤字じゃないが発生モーメントとか下げられればなと思った次第。
0:45:17	です。
0:45:19	いや、やっぱりうちがちゃんとやる意味では精緻なものを、これ求めるわけではないから。
0:45:28	荷重を下げるとか下げないと書く表用地がどこにあるっていうのは、もうすでにこれについてはないわけで。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:37	なのであまりそこを言っても、もともとモデルにはもう限界があるわけだから、正しいかどうかというのはもう、
0:45:48	当委員会に保守的にやっても良いよ、わかんないんだから、今回の場合はそういうところには踏み込まなくていいと思いますよ。
0:45:59	わかりました。
0:46:02	私からは以上です。
0:46:17	規制庁側から他に。
0:46:20	何かを面等ありますでしょうか。
0:46:24	今日規制庁ハバサキする、ちょっと。
0:46:27	この資料の扱いこれが公開されるんですか。
0:46:34	基本コアの公開だと思いますよ。
0:46:37	規制庁浜崎です。見ちゃったし、
0:46:40	規制庁岡崎ですそしたらやはり、先ほど蘇武開示の話があったんですが、どこが不開示でそうじゃない、どこが取ってるのか。
0:46:50	非常にわかりにくいし、そういう注記もないとかですね、ちょっとそこを十分精査した上で公開してもらいたいというふうに思いますが、よろしいでしょうか。
0:47:00	はい200年度どうもですね本日の資料はですね非公開版で議論させていただいてますが公開版としてお出ししてるものは
0:47:11	ウォークを付けてここが非公開ですという情報を設定を出しておりますので、公開してこちらも作成はしております。以上です。
0:47:21	はい。瀬崎です。了解しました。
0:47:33	やっぱよろしいでしょうか。
0:47:35	なければ、続いて、液状化の話に移りたいと思います。
0:47:42	はい。R東京武でございます。引き続きまして、液状化評価の手順についてという資料で説明を差し上げたいと思います。
0:47:53	大変申し訳なくてですね、今まで断片的にいろいろな資料をお出しして、全体の流れを一度整理するという意味で、本日の資料を作成しております。
0:48:02	まず、液状化の手法の流れということで下にフロー図がついてございますが、左側の列と右側の列に分かれてございます。
0:48:13	まず左側の列は、基準地震動 $S_s$ から、地盤をモデル化をして地震動解析をして、地盤に生じているせん断力を出す。
0:48:25	それでそのせん断応力比 $L$ と、
0:48:29	人事せん断応力比 $L$ というものを求める流れでございます。これがいわゆる外力側というか荷重側の話でございます。右側の列は、
0:48:39	土質工学会の室内試験法に基づいて、実際に現地から採取した資料を用いて試験を行って、
0:48:49	繰り返しせん断応力比 $R$ 、いわゆる耐力側ですね、それを求める流れとなっております。詳細を後程説明いたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:57	その両者の比較によって、安全率を出してそれが1を上回る場合には、液状化液状化の家が可能性なし、1、1を下回る場合には、
0:49:09	木戸家の可能性ありということになります。
0:49:12	その個別個別の項目について順次ご説明を差し上げます。2ページをお願いします。
0:49:18	ここでは、地下水位の設定について記載をしております。
0:49:23	下側のグラフをご覧いただきたいと思いますが、
0:49:27	建屋の東西南北4ヶ所で、地下水の家測定を、継続的に行っております。下のグラフで、四つの線がございますけれども、
0:49:38	変動を踏まえても、赤線で引いております14メートルというところの水位高さを超えることがないので、
0:49:48	保守的に地下水位は、地表面の、16メートルから2メートル下がりの地域14メートルということに決めてございます。
0:49:59	それからその次のページ(2)番でございますけれども、建築学会の基礎構造設計指針というところに行き浄化判定の話が載っております、
0:50:10	そこに四角囲みのところで、どういう時にやらなきゃいけないかということが書いてございます。
0:50:16	長たらしいので下に括弧書きで、三つに整理してございますけれども、一つは、地表面から20メートル程度以浅の沖積層で、
0:50:26	サイリウム分含有率が35%以下の土と。
0:50:29	これは法案案水水に飽和しているものということになってございます。
0:50:34	2番目が、埋め立て時地盤等のか、造成地盤で、地表面から20メートル程度イシイまで連続している場合は、造成地盤の、
0:50:45	下端まで、新名の2の手法等により液状化判定を行う必要があるということで、この2というのはちょっと上の、とか、枠囲みの下に書いてございますけれども、
0:50:57	地震応答解析を行わない場合に、その位置におけるせん断力を推定する方法でございます。
0:51:07	それから3番目の条件としては、年度分、含有率が10%以下、または塑性指数が15%委員会の埋め立て或いは森井の地盤ということになってございます。
0:51:19	それぞれ一番から条件について、ご説明したいと思いますが、まず(1)のサイリウム分含有率等の話です。(1)についてですが、
0:51:30	まず貯蔵建屋の杭の根入れ部分を含めた最深部が、TPのマイナス21.5メートル地表面は16メートルでございます。
0:51:41	この間の液状化の可能性があるのかないのかということをお考えすると対象となるのは田名部層と砂子又層ということになります。ただし一番最後に書いてございますけれども、
0:51:53	釈迦に説法ですが、地下水より浅いところは除外をしております。
0:51:59	それから、砂子又層、
0:52:02	については家ではなくて、がんに分類されていることから、これはここでは除外をしております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:11	それから2番目の条件次のページでございますけれども、
0:52:16	2番目の条件としては、埋め立て造成地盤ということでございますので、当社の敷地の貯蔵建屋は自然地盤の内山でございます、
0:52:27	埋め立て地盤等の造成地盤には当たらないということから、
0:52:31	これを理由に液状化対策、も対象とすることはないということでございます。
0:52:39	それから3番目の条件は、
0:52:43	サイリウム分含有率、年度分の含有率或いは組成する話でございますけれども、表1に、地質の調査結果からまとめた。
0:52:53	塑性室或いは最良の含有率の値を示してございます。条件で言うところの値年度分の10%以下。
0:53:04	それから塑性指数が15%以下というのものには、いずれの層も該当しないので、対象となることはない。
0:53:11	そう考えますと、最後に残りますのが、下の図面で書いております田名部層下部さ出土PM2層というところが液状化対象の検討対象。
0:53:23	そうになるということでございます。
0:53:27	で、次のページの頭でさ、なお書きで書いてございますけれども、
0:53:31	上記のように砂子又層については検討対象外としておりましたけれども、念のためとして、FL値を用いて液状化判定を行っております、
0:53:43	結果については、後程再度ご説明を差し上げたいと思います。
0:53:48	それから今度、地震時せん断応力比の算定ということで、
0:53:56	地震時にどれだけ地盤にせん断力がかかってかかるかということにつきましては、
0:54:02	あと模式図上部忘れるから例の、
0:54:05	ほら、パーフォでさ、
0:54:09	そうそう。
0:54:10	画面でご覧いただいておりますように、地震時のせん断応力の $\tau$ につきましては、基準地震動解放基盤に入力した。
0:54:21	地盤の地震応答解析、これでせん断応力を算出しております。それからモデルについては、設工認図書の、
0:54:32	添付の5-1-2というところに書いております。表3-1の解析用物性値。
0:54:37	それを用いて解析をしてございます。
0:54:42	それからいう高度化フルヤ有効上載の株率の算定ということで、今度は $\sigma_v$ 点を出しますけれども、これは儘田委員。
0:54:51	右側の中列みたいになっておりますところが、地盤のモデルがございませぬけどこの中にど粒子の密度と、それから、それに対して水による浮力を考慮して、
0:55:05	当該位置の有効度かぶり厚を出すということでございます。
0:55:10	それから最後に三番で、先ほど求めましたせん断応力度というコードかぶり厚の比をとって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:19	ゆ推進中せん断応力比Lというものを算出いたします。本文書も、
0:55:26	それで最後に、
0:55:29	4番目でございますけれども、繰り返しせん断応力比Rの算定ということで、
0:55:35	これは地盤工学会の試験法で決められたものによって、
0:55:39	一定振幅の繰り返しにおいてひずみの5%に達した時の、繰り返し応力振幅として求めております。
0:55:49	それぞれの、
0:55:51	結果を、
0:55:55	参考資料、そのページあたりになっているのかというのを、別途用意しました参考資料の一番最後のページに、
0:56:05	載せております。
0:56:08	上側が、砂子ごめんなさいすいません。田名部層の液状化抵抗で $R = 0.956$ ということになってございます。
0:56:19	それから下が砂子又層でございますしてちょっと赤線の位置が、
0:56:23	図面の作成上ちょっとずれておりますけれども、
0:56:26	一番右側の青い丸の中心を通ることでございますけれども、
0:56:30	$R = 1.504$ という値になってございます。
0:56:34	そこに合わせて青井帯を入れておりますけれども、通常ゆるい砂地盤で液状化が問題になるというオーダーで考えますと、この液状繰り返しを出せ、繰り返しせん断応力比というのが、
0:56:48	0.2から0.4程度のものが、液状化しやすいということになっておりますので、現状の室内試験結果からいうと、大分余裕がある状態になるということでございます。
0:57:00	最後に、その検討した結果が整理してございますが、
0:57:06	6ページでございます。
0:57:08	まず表の2が、田名部層の左室のFL値を算定した結果でございますして、
0:57:17	地震動ごとに求めておりますけれどもSBRのHという、震源を特定せずの留萌の波でございます。この時が一番最小となりまして、1.4という値になります。
0:57:30	それから、先ほど念のためと申し上げましたけれども、砂子又層についても同様に、判定をしておりますして、これもSB湾のHというので、
0:57:41	FL値が2.07という値になります。最後に、以前ご説明いただいた内容で、
0:57:48	水平2方向と鉛直を同時入力した時にどうなるかということについて検討した結果が、
0:57:54	表の4でございますして、金津層について検討した結果、同時入力した場合でも、1.24程度の安全率が残るということでございます。説明は以上でございます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:12	ありがとうございました。では、先ほどの説明に対して規制庁側から、質問なりコメントをお願いします。
0:58:33	規制庁の岸です。ちょっと私の方から幾つか確認をさせていただければと思いますけれども。
0:58:40	まず一つ目は、この今回のFL値の算定流れのあらましというのが説明されて、主については理解というふうに思いますけれども。
0:58:55	その行為によるたとかについてですね、ちょっと確認をさせてください。
0:59:02	この資料は二つあるかと思えます参考の資料の方の一番最後のページ、16分の10ページにですね。
0:59:15	田部磯、藤鷲見小中宗の。
0:59:19	PL値の算定に、
0:59:22	Gる繰り返しせん断力Rが3、根拠と思われる試験データが示されているんですけれども。
0:59:31	これ、冬型の武装で下が砂子又層ということですが、それぞれ、
0:59:37	何試験ずつやられたのかっていうのを教えていただきたいと思えます。で、何事件っていうのは、ちょっといろいろ定義があることを答えられるかもしれないんですけど、おそらく、ボーリング地点、
0:59:51	何ヶ所かで深度方向にも炉安審とか、
0:59:55	やられていると思うんですが、その1新保が1試験だとした場合に、
1:00:05	何試験やられてるのかっていう、そういう感じで、教えていただけないでしょうか。
1:00:14	あらわれた形でございます。大変申し訳ないと今にわかには数字まで把握してきておりませんので別途整理して答えをしたいと思います。以上です。
1:00:24	次長の岸野です。はい。お願いいたします
1:00:27	試験方法の説明はですね、前段の方にあって繰り返し委員は39試験というようなことだったかと思えます。
1:00:37	一つの進度から3本とか4とか、供試体の通り
1:00:43	かなと。
1:00:44	それを、この16ページ、ずーそれぞれプロットしているのを数えると、10幾つ。
1:00:53	上が10、これ、明日玉受
1:00:57	うっている、あるということからすると3合計34進藤とかがもうちょっとかもしれないですが、やってるのかなと思いましたので、ちょっとそのあたりですね、
1:01:09	ご確認いただいて情報として入れていただきたいと思っています。
1:01:13	それをちょっと確認させていただきたい趣旨というのは、試験データは出てきているんですけれども、
1:01:23	本当にこの田名部層や、
1:01:25	津野小俣数から、代表的。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:30	なところからちゃんと取られているのか、或いは
1:01:34	国井世良鎌田様分厚いですがもある程度網羅的に押さえられているのかっていうことも、説明があった方が良いかと思いますので、
1:01:44	それらがですね、わかる。
1:01:47	いうふうな説明を外していただければと思うんですが、うちの方は理解いただけました。
1:01:56	はい。あれだけでございます。ご趣旨了解いたしました。それとちょっと1点訂正させていただきたいんですけども
1:02:04	吉田さんあれですよ下の。
1:02:07	砂子又層は江藤中空ねじりせん断ですよ。
1:02:14	はい、当然設計の谷津でございます。
1:02:17	やっぱり下の方は1920件でございます。以上です。
1:02:22	有賀タケウチでございます。ちょっと
1:02:26	もともとの田名部層も、
1:02:30	ことだけ書いておまして、対象外となってきた。
1:02:34	須永小俣等の記載が漏れましたので、この試験方法は下の砂子又層については19年時でございます。訂正させてあげさせていただきます。申し訳ありませんでした。
1:02:45	以上です。
1:02:47	規制庁中です。はい。多分そうかなと思ってまして、これは10ページの凡例を見ましてですね、原発絡みひずみ5%でプロットしてるんですけど下の地盤があんまりええですかね。
1:03:00	7.5%ということで何で条件違うところで議論いたしまして、確認しようかなと思ってたんですが、今ご説明があった試験方法の時代から必然的に5%と7.5%とに分かれたとそういう理解でよろしいですか。
1:03:20	おっしゃる通りでございます。申しわけありませんでした。
1:03:23	やっぱそうっすね。お願いします。
1:03:28	規制庁の岸です。はい。理解しました。それで、
1:03:32	最後のリズムが、くりおそらく被水の3軸試験繰り返し3軸試験で、
1:03:39	本当に砂子又層が中空明治
1:03:42	で、多分、サンプリング方法も変わってくるかもしれないですが試験方法を変えた理由ってのは何ですか。なんていうんでしょう。
1:03:53	同じ方法で統一した方が、同列に比較しやすいと思ったんですけども、何かお考えがあつてって言ったら教えていただけますか。
1:04:03	前政権、田澤江崎です。
1:04:07	よろしいですか。池さん、当然設計の伊佐ですが。
1:04:10	お願いしますすいません。はい。
1:04:12	えっとですね

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:04:14	猿田相馬結果どうして出ていただいている方緑肥見ていただけるとわかると思うんですが、1.5位のかかなり高い応力比の試験をしております。
1:04:23	これ3軸試験でやるときに、例えば暴力被害値を上回るようなものってのは、かなりバックプレッシャーを与えて、
1:04:31	無理やり引っ張りを与えなきゃいけないような試験となりますので、ちょっとなかなか本来のせん断とは違う挙動になってしまうと。
1:04:38	ということで、砂子又層に関しては19日、
1:04:43	田尻千田における試験をやらせていただいているということでございます。以上です。
1:04:51	室の木戸です。なあ。
1:04:53	中クリーンセンターの方がより高いひずみレベルまで、試験の利益的に精度良く、抵抗が図れるという。
1:05:02	理解でよろしいですか。はい。当然設計ヨシダです。その理解でよろしいかと思えます。わかりました。規制庁井内です。そういう趣旨からして、より高い抵抗でより大きなひずみまで出さないと数字が、
1:05:16	獲られないで、大津中俣町については中クリーンセンターを使ったってというようなそういう考え方になるわけですかね。
1:05:27	当然設計ヨシダでございます。そのご理解でよろしいと思えます。以上です。
1:05:32	はい。規制庁吉井です。はい、わかりました決定ですね、そこら辺は冒頭ちょっと説明が一ん抜けてたというお話もありましたように、試験方法とか試験条件に変えたのでございますので、理由も含めてですね、ちゃんと説明をしていただきたい。
1:05:50	参考じゃないの資料の5ページ7分の5ページですか。
1:05:55	こちらの方は、先ほどお話あったように流総についての説明だったということですので、砂子又層、
1:06:04	図にちゃんと説明がされるような形で、修正の方お願いしたいと思えます。
1:06:15	植竹でございます。ちょっと趣旨が使えるか、5ページの、
1:06:21	図面のお話でございましょうか。すいません。1件。
1:06:26	円グラフのお話ですか。
1:06:30	えっとですね参考とついてない方の資料があったかと思えます。
1:06:35	同等物の液状化評価はよろしいでしょうか。それが⑤ページの内容というのが、これについての記載。
1:06:46	ということになります。例えば一番下の方は、ひずみが5%に達した際という記載もあります。
1:06:52	ここでは砂子又数の議案で適切に記述をお願いできればというようにしております。
1:07:00	はい、ありがとうございます。大変申し訳ございません。理解いたしました。ありがとうございました。
1:07:05	杉森委員です。はい。よろしく願いいたします。
1:07:08	あと、ちょっと向井っていう教えてください。7分の方ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:13	人間復興後、
1:07:15	今の方ですね。
1:07:16	言いました。
1:07:17	ウィンズケールに記載されているこの計算の方法っていうのは、建築基礎構造設計指針の方法ということでよろしいですか。
1:07:35	すいません、表2のことをございましょうか。
1:07:38	規制庁の岸です。同じく7分5ページに記載されている、堀野三瓶式設備がございませぬ。
1:07:50	これらの説明を全県直接の指針に基づいて、お願いいたします。
1:07:55	今画面に表示するページです。
1:08:01	おっしゃる通りでございますすいません。
1:08:05	全然キシノです。はい。準拠した指針とか広報について何か明確に書いていただければと思います。
1:08:12	アレスタケースです。承知いたしました。大変申し訳ございませんでした。
1:08:17	続いての基準です。あとですね、1ページに戻っていただいて7分の4ページに、
1:08:23	別の裁量分含有率とかの数字が表に載っているんですが、
1:08:28	砂子下層についてはこういったデータを上げられてないんでしょうか。
1:08:39	最近の画面に表示されている。
1:08:42	ページについて今質問していると思います。
1:08:47	今、にわかに正確なことを申し上げられるもう一度調べますけれどもおそらく、
1:08:53	砂鎌田層であれば液性限界塑性限界という値は多分ないのではないかと、
1:09:00	サイリュウ分概要率等の値はあるかもしれませんので、もう一度調べて正確な値をお答えしたいと思います。以上です。
1:09:09	1010日に繋がりました。もし、試験データが示せるようであれば、それもあわせて説明することです。お願いします。
1:09:19	はい。上崎です承知いたしましたありがとうございます。
1:09:25	辻井木内です。ちょっとページが離れまして、今7番、ページですね2ページ戻っていただいて7分の2ページ。
1:09:35	賛成の説明について、確認をさせていただきます。
1:09:41	建物挟んで東西南北4地点で、5年後に観測したというデータが示されていますけれども、
1:09:49	それらを包絡するような形で高めに設定しているんで大丈夫というようなご説明だったと理解しましたが、ちょっとこのデータをつぶさに見ますとですね。
1:10:01	東西南北で、東が一番高木西が一番作って、東大はその中間にきて出ているような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:09	位置付けというと東から西に向かって地下水が下がっている傾向が見られます。で、これについてはなぜこのような分布形状になっているが、地形或いは地層構造に基づくものなのか或いはその他に
1:10:24	劇の分析っていうのをされた上で、この設定は問題ないよというような判断されているということなのではないでしょうか。
1:10:31	これについての見解を教えてください。
1:10:36	はい。RL下げてください。上野が図2で5をご覧くださいと、建屋の南側と東側、ここが法面になっておりまして、
1:10:47	比較的高い、最後に高井衛藤。
1:10:51	何て言うかね、地形をしたよって言って、
1:10:54	北側と西側については、キャスクの搬入炉に向かって海に向かって、坂道を下っていくような地形になってございます。おそらく、
1:11:04	山県北見図が、東側と南側で出て、抜けていく先の北側と西側では低くなっているんだというふうに考えております。以上です。
1:11:17	杉野岸野です。はい。そうですね。この地形図いるとのご質問な気がします。
1:11:26	結城新居。
1:11:28	そうしますと、今回5年目の観測データということなんですけれども、今後、この地表面を掘削したり何だりとかいうことをしない限りは、その傾向ってのは変わらないであろうというふうに判断されているのでしょうか。
1:11:46	もともと時までして、表面を少し、土を張りましたけれどももともと野地山で、その後、改変等もしておりませんので、
1:11:58	そう大きく傾向が変わることはないだろうというふうに思っております以上です。
1:12:04	規制庁の岸です。はい。理解しました。えっとですね、おそらく分析という目で見ると出していたデータからするとそういった分布傾向的なものが見えてくるだけで、そういったものを踏まえてですね。
1:12:19	或いは将来的に地形の必要性とか下の状況は変わってくるかもしれないんですが、そういったことを睨んでも今回の設定っていうのは妥当なんですよというような説明もあるべきではないかなと思います。その説明を菅技師。
1:12:37	あるタケウチでございませし表現を考えさせていただきます。ありがとうございました。
1:12:45	規制庁の岸田です。お願いいたします。
1:12:48	知久規制庁です。お願いします。ちょっとすみません7分の2ページでちょっと関連しますので、
1:12:56	今これ4地点の観測結果なんですけれども、先ほど話がありました、かなり東西での福井イトウさんが大きいということで、60メートルぐらいの Spann に対して4メートルぐらいですかね、これ。
1:13:11	この4点以外、バス周りですね、外側といいますか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:16	の、観測性っていいですか地下水の観測というのはされてないのかで、例えばこの東西の傾向からすると、もっと東側に行くと、かなり、さらに地表面、
1:13:29	レベルに近いような、地下水規模となってしまうんですけども、いやそんなことないですよというような観測記録だとかですね。
1:13:38	そういう情報っていうのはないでしょうか。
1:13:42	はい。リサイクル燃料貯蔵の寺山です。この40 銭以外にもですね、少し離れたところでも観測をしておりますので、ちょっとその辺りの間の観測記録等も踏まえながら、ちょっとその辺りの傾向をご説明いただければと思います。以上です。
1:13:58	はい。規制庁浜崎です。先ほど地下水位を設定する根拠ということですね、いろんな観点の考察も含めてということもありましたので、
1:14:09	今、この4点以外も、観測されているということも含めてですね、この地下水位の設定が妥当であるということ、しっかりと説明いただければというふうに思います。
1:14:20	よろしいでしょうか。
1:14:22	はい。リサイクル燃料とテラヤマです。承知いたしました。
1:14:27	はい規制庁浜崎です。私からは以上です。
1:14:34	慎重中です。続けさせていただきます。
1:14:38	これはコメントというよりですねちょっと単なる確認なんですけれども。
1:14:44	本日の説明で、
1:14:47	砂子又層と田名部層の液状化評価、FL値の算定のプロセスを(2)説明いただいたんですが、
1:14:57	それと並行するような形で、何か別の解析。
1:15:02	その液状化するしないに関わる解析ですとか、或いは仮に液状化するものという前提で、別途施設にて提供とか、検討するとか、
1:15:15	何かそういったす、これ以外の検討なり解析なりっていうのは、
1:15:21	何らかお考え。
1:15:23	なんででしょうに今やってるんでしたらそういった状況なんかも教えていただければと思うんですが、いかがでしょう。
1:15:31	はい。新垣タケウチでございます。江藤。
1:15:34	まず、ちょっと後の方の質問からですが、我々この判定で液状化をしないということでございますので、
1:15:43	液状化をした場合を想定して何か構造的な対策をするということは、今行っておりません。
1:15:50	それから、液状化の、先ほどご覧いただいたように大分安全率もありますので、液状化しないと思っておりますけれども。
1:15:59	一応1次元のモデルを作って、間隙水圧がどの程度上昇するかということについて今解析中ございまして、ちょっとまだ結果を出す、出しきれれていない。いらなくても、いせんけれども。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:14	時期を見て、その間隙水圧がどの程度上がるかということは、何かの形でおるとお思いますのでその結果についてもあわせてご説明したいとお思います。以上です。
1:16:27	規制庁の金です。はい。ご説明ありがとうございます。理解いたしました。
1:16:31	後者の方についてはまた後日何らかの形で説明が終わるということによろしいですかね。
1:16:42	はい。タイミングについてはそのコメント回答の時期と見合わせてなるべくそろえて一括ご説明するようにしたいとお思います。ちょっと解析の状況に応じて、時期を決めさせていただきたいとお思います。ありがとうございます。
1:16:57	室長の金です。ご説明理解いたしました。よろしくお願いたします。私からの確認は以上です。
1:17:08	規制庁側から深見。
1:17:10	コメント休むとありますでしょうか。
1:17:15	規制庁野村です。
1:17:17	私から2点ほど確認させてください。
1:17:21	まず
1:17:23	液状化評価の手順についての、
1:17:26	7分の3ページなんですけど。
1:17:28	これ、別のコメントで聞くか聞いている話なんですけど、意気込みですね私は建築基礎構造設計指針に従ってますということをお言ってるんですが。
1:17:39	それによるとその埋め立て地盤等の造成地盤では検討しなくていいよみたいな話になる。
1:17:45	ですけど、ほかですね、例えば泥教習補助とか、J R R4616ですね、なんてのは、その埋め立て地盤というこのくだりがないのかなと思うんですけど。
1:17:56	なぜこの建築規則の設計自身を選ばれたんでしょう。
1:18:04	はい。R S タケウチでございます。
1:18:09	おそらくジェックなども飲むなども、昔からあるこの基準をベースに作られているというふうにお我々考えておりまして、元に当たるとお意味でこれを、
1:18:19	選定しております。以上です。
1:18:22	規制庁の野村です。そうすると、J E A Gの方が新しいなら弱の方が、
1:18:28	最新知見を含めてそのようになってると思うんですけどそうではないんですかね。
1:18:38	ちょっと
1:18:41	整理が必要だとお思いますので、J R の表現等、基礎指針の表現を、を並べた上で、どこが違うのかということをお踏まえて、説明を加えたいとお思います。すいません。荒木タケウチでした以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:56	程度のノムラ、私ってのはJR空の方の4億。
1:19:03	それで、もう1点なんですけど、とですね、参考資料の16分の15ページ。
1:19:09	私がしたためてたんですけど、鉛直。
1:19:14	水平に報告らせんちょ食うで激動かどうなのって話があって、
1:19:19	真柄断層について、回答、これ詳細をつけてくれますかね。
1:19:26	ちょっと具体的にどうやったのか。
1:19:28	よくわからない。
1:19:30	よろしいですかね。
1:19:33	はい。有井江崎です。
1:19:37	詳細ということはあれですか。今、やり方は皆同じでして、他の相当、解析ですか。そうですね。そういう解析をしなかったことですか。あと、考え方はその鉛直どう考えたんですかっていうことですね。
1:19:51	三つ、3方向でSRSSしたのかなと今思ったんですけど、それでいいのかな。プログラム。
1:20:00	あるタケウチです。
1:20:02	3方向同時入力の解析をやって、その結果を用いてここに液状化判定をしております。その旨はここに書き加えたいと思います。以上です。
1:20:13	SHAKEで。
1:20:15	3方向ですか。
1:20:18	瀬谷さんをご存知ですか。
1:20:25	むしろあれですね、ちょっとそういう形で補足してもらったほうがいいかもしれませんけど、SHAKEってそのP波というか、圧縮はとか上下はとか、
1:20:35	そういうのも、これできるのかなと思って。
1:20:38	いずれにしても、詳細なことは、ちゃんとつけてください。
1:20:45	RSタケウチです。57分は理解しましたので、プログラム、或いは解析の考え方についてこの資料の中に盛り込みたいと思います以上です。
1:20:57	持田ノムラです私からは以上です。
1:21:01	藤。
1:21:02	ちょっと今ハセガワですけれども、今の野村さんのやつの中身は理解されてるんですけど、こういうところを、
1:21:17	出してみるんだったら、日力の詳細ってというのはこういうものだっていうのとか、もしくはRFSから詳細はこういうものでいいですかとかって確認はなくていいの。
1:21:32	すいません。説明をはしょりまして大変申しわけありタケウチです。通常SHAKEですと、1次元は基本的にはね、SHAKEとか、別にさっきの指針の並べるっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:46	我々でもできるカラーことなんだよね。だから、もっと何をついていうところをちゃんと言っといた方が、
1:21:58	やってもらう、くれるんだったらやってもらってもいいんだけど、余りにも過剰要求がいけませんよということも含めてなんだけど、後やることが食い違っているとまた時間の無駄になっちゃうんで。
1:22:12	よく詰めといた方がいいんじゃないかなあとと思います。
1:22:16	はい。そうした手短に申し上げますと、1次元の解析を通常使いますけれども、それを3方向同時入力できるプログラムマイクロSHAKEとかいうプログラムですけれども。
1:22:28	それで解析をした結果を使って、今、この値を出しております。以上です。
1:22:35	規制庁の丸ですけどそれははい、わかりました。
1:22:40	それで先ほどキシノかな、詳細な計算上、条件を出してくれとかいったと言ったのかなと思うんですけどそれと同じぐらいの、
1:22:49	レベルの計算条件を出してください。
1:22:53	以上です。
1:22:57	はい、RSW施設承知いたしました。
1:23:00	私からは以上です。
1:23:02	大丈夫ノムラさい今計算上木田からRFSまで計算条件を出せばいいってことね。
1:23:10	計算上要するにコンピュータのデータセット出せばいいということ。
1:23:13	データを全部出すっていうのかそれとも地盤の定数なのかとか、何か何かそうそういうところをちゃんとしとかないと、やっぱりわかんないんじゃない。
1:23:26	これこれこういう理由で確認したいからこれを出せとかっていうのが、多分正しいうちの言い方だと思って。
1:23:45	ある程度、慶弔見舞いですけど、ある程度計算を得るデータ。
1:23:51	ですね、解析の場合は総務課なんですけど。
1:23:55	解析の場合はI Oというか、インプットアウトプット、
1:23:59	ですか。
1:24:00	ぐらいで結構です。
1:24:04	アカサカですけど、うちでやってですね、またコミュニケーション取りながらですねそちらに該当しますのでそこで不足があればですねまた。
1:24:14	指導していただければと思いますのでちょっとうちの方で、
1:24:17	とりあえずアクションしますので、よろしくお願いします。
1:24:21	規制庁根井です。規制庁野村ですけど、私の意図はここに表に結果だけぽんと書かれてもわからないので、
1:24:31	もう少し追えるようなデータをくださいということです。
1:24:34	それが目的です。以上です。
1:24:41	はい。あれだけでございます承知いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:55	他。
1:24:57	急遽だからコメントありますでしょうか。
1:25:00	はい。
1:25:00	室長の岸野です。すいません。今のやりとりを聞いてます栗田Cが質問した冒頭の質問を少し収集不明確なまま伝えちゃったかもしれないので、もう1回だけ補足をさせてください。
1:25:13	一番最初に、16 ページだったかの知見数量幾つですかということをお聞きして、試験放流だ形、説明があればいいということで
1:25:25	ですね、平面位置、或いは深度方向で、どのあたりから採取した後でどういう考え方で、この辺りから採取したということを説明いただければと思っています。
1:25:38	その趣旨というのは、先ほども少し申し上げましたけども、田部図親砂子又層の中で、偏りが多くとられてるといいますか。
1:25:48	ある程度代表性があり、等平面的或いは深さ方向にもですね、網羅的と今いえるぐらいの箇所からですね、とられているということが説明できれば良いかと思えますんでそれを念頭に置いて、数量や採取したい地震動等についても、
1:26:07	説明をお願いしたいというのが一番最初に、確認したかった事項ですので、そういった趣旨でのご説明の方、お願いできればと思います。以上です。
1:26:19	はい。あるし、竹内でございます。今のご趣旨を踏まえて回答を作成いたします。ありがとうございます。
1:26:33	2 規制庁側からコメントありますでしょうか。
1:26:42	ではなければ、液状化の花Cについてはですね、今日のコメントを踏まえてちょっとまた改めて資料準備R I Sの方でしていただければと思いますんで、
1:26:55	あわせてですね先般の五月雨でいくつかコメントをいただいてまして、そのコメントコメント回答をいただいてまして、そのコメント回答にこちらからですね、これも五月雨んならですけど、
1:27:10	回答なりクローズなりに、
1:27:13	のご連絡を差し上げているところですが、
1:27:16	1点ですねちょっとこちらからコメントした回答について、ちょっと訂正なりしたいと思ってますんで、そのコメントをちょっとまずさせていただきます。
1:27:30	あわせてまたちょっと1点ですねちょっとコメント回答いただいた資料について、確認だけさせていただきたいと思います。
1:27:38	規制庁側、織田さんよろしいでしょうか。
1:27:44	はい。規制庁沢です。
1:27:47	私の方から1点コメントについて修正させていただきたいと思います。ですね。
1:27:55	そちら側の管理No. D0209、41。
1:28:00	45 というところで、コメント回答いただいているものです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:28:06	どういう内容かというところは放射線管理設備についてですね。
1:28:11	許可での記載、もともと
1:28:15	このコメントの趣旨というところですけども、
1:28:20	許可の、事業許可の記載でですね。
1:28:22	管理区域における線量当量率等をですね、放射線業務従事者等が安全に認識できるように、適切な場所に表示する設備を設ける。
1:28:34	ていうような、
1:28:36	許可の記載があつて、今度設工認側でですね設備を設けると言っているの、どのような設備なのかと、どういう設備なのかによってですね設工認対象になるのかならないのかと。
1:28:49	というようなところを確認するというので、質問をして、していたものです。
1:28:57	前かいいの面談で多分追加コメントしたんだと思うんですけども、そちらの方ですねこちらの回答資料見る限り、
1:29:05	当事業許可で言われている、適切な場所に表示する設備っていうものが、
1:29:12	紙だとか掲示板だとかに
1:29:17	掲示するというので、そうそういう行為について設備にすでに設置するというような趣旨で記載していますというようなこと。
1:29:28	で、それについて、そういうものなので保安規定で運用しますよっていうようなことについては、理解をしましたので、追加でコメントしているというようなところは、
1:29:40	まず取り下げさせていただいてですね、まずこの回答についてはこれで理解をしましたというところでございます。
1:29:50	まずここまで大丈夫でしょうか。
1:29:57	はい、所白井です。
1:30:01	先ほどただいまの、
1:30:03	内容を理解いたしました。
1:30:04	ありがとうございます。
1:30:07	それ規制庁澤です。それですね、今このコメント回答は理解していたところ、理解したところなんですけれども、その趣旨がですね、今言うコメント回答いただいている内容が、
1:30:21	申請書上では読み取れません。
1:30:25	ですので、それが読み取れるようにしていただきたいというのが、
1:30:30	改めてのコメントでございます。
1:30:33	よろしいでしょうか。
1:30:44	はい。リサイクル燃料貯蔵の白井です。趣旨を理解いたしました。
1:30:50	申請所上での幾何について、ちょっと検討して、反映できるようにしたいと思います。
1:30:59	はい。規制庁澤です。検討していただければと思います。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:04	どこどこっていうと右折。設工認その別添1の2.5の車線管理設備。
1:31:12	その情報表示あたりなのかなというふうに思いますけれども、ご検討いただければと思います。以上です。
1:31:22	自宅燃料貯蔵の白井です。
1:31:26	北浦についてちょっと検討して、また説明、相談させていただきたいと 思います。ありがとうございます。
1:31:36	規制庁澤です。私からは以上です。
1:31:51	規制庁仲野ですけど私からでいいですか。
1:31:57	若菜。
1:31:59	規制庁小澤ですけど私からは以上です。
1:32:09	そういう状況です。
1:32:11	うん。
1:32:20	いや、やっぱりっていうのは、
1:32:22	中谷さんどうぞ。いいですか。はい。はい。
1:32:26	規制庁仲野です。
1:32:28	私からは、衛藤先週、
1:32:30	コメント回答資料で、
1:32:34	0209-01 から、
1:32:37	13 の、
1:32:39	別紙1 というのを言われますかね。
1:32:44	資料でいう③-1、事業許可変更申請、事業変更許可申請書からの変更 点という一覧表の件なんですけど。
1:33:19	それでその別紙1かな。
1:33:24	イシイですねごめんなさい。
1:33:33	はい。この資料を、もともと我々は、設置変更許可からの変更点があっ たら教えてくださいという質問に対しての回答だと思ってます。
1:33:43	それで、
1:33:45	まず大前提として聞きたいのは、ここで言う事業許可変更申請書という のは、
1:33:53	令和2年の11月に認可した。
1:33:57	許可のことでよろしいですか。
1:34:01	はい田部井住スギヤマです。事業許可は、令和2年の11月に認可許可 されたもの。
1:34:10	ということで考えております。以上です。はい。
1:34:14	規制庁中野です。そうすると、これ縦の列で左から1234列目に設計条 件の変更の有無と解析の変更の有無って書いてあるところに、
1:34:24	マルがしてあるということは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:27	事業許可から設計条件とか、解析が変更しているという認識でいいんですかね。
1:34:34	はい。遊佐間瀬の杉山です。表のつくり方なんですけども、当初は事業許可と設工認ということで、
1:34:44	と書いておりました。特にこの3項目に関しては、2項目は、
1:34:51	2項目に関しましては、基本的には設工認の関連して、変更があったかないかという意味合いで書いております。
1:35:01	特に情報のところに関しましては、技術基準規則のところの考え方が変わったりとか条文が変わったかという点で記載をしておりますので、
1:35:12	恐らくは
1:35:14	江藤事業評価との変更点との趣旨に合わないという、
1:35:19	いうことを指摘されると思うんですけども、あくまでも設工認側との合わせて書いているという状況になっております。以上です。
1:35:29	ごめんなさいそうすると規制庁仲野ですけど、ちょっと今の説明がわからなかったんですけど。
1:35:35	背許可からの変更点の説明資料に対してこの0はどういう意味なんですかね、設計条件の変更あるっていう。
1:35:43	サービス部の杉山です。あくまでもここは技術基準規則のところになりますので、表現としてそぐわないのであればここは削除したいと思えますけども、いかがでしょうか。
1:35:56	そうする。規制庁中野ですけどそうすると変更はないということなんですけど、この右側に書いてある変更内容のところにならなくて書いてあるものは、
1:36:04	他からの変更点はないという理解でいいんですか。
1:36:08	RFSむつの杉山です。右側の変更項目の内容のところ、許可からの変更があるかないかと考えていると書いてありますので、
1:36:18	それは変更はないという形になります。
1:36:22	規制庁の赤松わかりました。そうすると例えば1ページ目にある、
1:36:27	18列とかです。ね19列にある。
1:36:31	変更点でですね、一番上には事業許可からの変更点、変更なしと書いてあるにもかかわらず、その下に基準値S <sub>s</sub> が変更って書いてあるんですけどこれはどういう意味ですかね。
1:36:49	はい。ターレスむつのスギヤマです。
1:36:54	そうですね。
1:36:56	設工認側の内容をちょっと書いてあるので事業局から僕は変わってないと思いますから。
1:37:01	そこはちょっと書き過ぎて、間違ってるのかなと思います。
1:37:06	高野。
1:37:08	規制庁仲野です。もともとの趣旨は、やっぱり許可から変わったら何ですかってことだけだったんで、もっと簡潔に許可からここだけ借りました例えばですね設備名称が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:37:19	評価時に用いた設備名称が変わりましたとか、
1:37:23	それぐらいしかないような気がするんですけど、もしあるとしてもですね、なければないで、変更点はありませんの一言でもいいのかなと私は思ってるんですけど。
1:37:31	余計なんかわかりにくいんですけど。
1:37:34	どうでしょうか。
1:37:36	はい。はい。河原木進スギヤマです。今ご指摘わかりましたので、許可からの変更があるかないかという点に関しましてちょっと修正をしたいと思います。
1:37:49	今おっしゃっていた、左から1234、すでに進めのちょっと上に上げていただいて、
1:37:59	設計条件の変更の分と解析の変更の分と、
1:38:03	いう欄は削除しようと思っております。
1:38:06	それから変更項目のところ、ご指摘の、藤とかからの変更があるかないかというところに絞って、記載をしたいと思います。以上です。
1:38:16	規制庁仲野です。ありがとうございますというか変更なしのところは別にいらないんですけどね。
1:38:24	そもそも、
1:38:28	はい。誰スムーズのスギヤマです。ご質問わかりましたが変更ないことを示す必要があるのかなと思わせていただきます。超長期が変更なしでも別に私は構わないと思っておりますけど。
1:38:42	セラフィー、
1:38:43	書き方をちょっと工夫したいと思います。はい。
1:38:46	コメント以上です。
1:38:48	はい、ありがとうございました。
1:38:58	では、規制庁側から特にコメントがなければ、これで面談をやり代わりにしたいと思いますますがよろしいでしょうか。
1:39:12	特段、コメントないので、
1:39:15	今日のヒアリングはこれで終わりにいたしますどうもありがとうございました。
1:39:20	ありがとうございました。
1:39:22	宮下。
1:39:25	が外してる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。